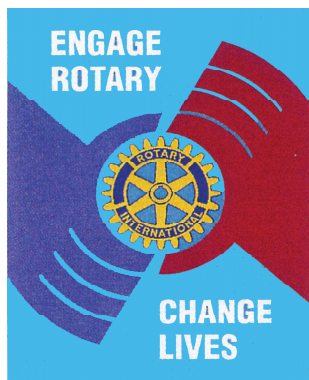




ロータリーを实践し  
みんなに豊かな人生を



会長 箕輪 良孝 ・幹事 加藤 清久 ・会報 福岡 健  
・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3  
・事務局 尾張旭商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945  
E-mail: owariasahi@mte.biglobe.ne.jp URL: http://www.owariasahi-rc.jp/

～磨いて 輝こう～

本 日 第2092回 2014年2月7日(金) No. 1979

## 本日のプログラム Today's Program

点 鐘

ロータリーソング「君が代」・「奉仕の理想」

卓話担当者: 丹羽敏行財務委員長

演 題: 「電子処理のあい方」

前 回 第2090回 2014年1月31日(金) 記 録

○斉 唱: 「日も風も星も」

○ゲスト: 尾張旭市地域活動連絡協議会

会 長

加藤 愛子様

○来訪者: 名古屋名東RC

梶間 誠君

瀬戸RC

加藤 太伸君

瀬戸北RC

青山 雅彦君

○出席者: 会員27名中19名出席 出席率70.37%

前々回補正出席率 1月17日分 92.59%

## 会長あいさつ 箕輪 良孝

今月はロータリー理解推進月間です。先回ロータリーの根本精神「超我の奉仕」(service above self)について、東洋思想的観点から考えてみました。

今日はロータリーのもう一つの He profits most who serves best について考えてみました。

(2004年HeからTheyに変更。)

帝釈天は仏教の守護神である天部の一つであります。仏教にはたくさんの尊天や神があります。たとえば四天王(持国天・増長天・広目天・毘沙門天(多聞天))や七福神の恵比寿尊天 大黒天 弁財天等もあります。

帝釈天は、元来バラモン教ヒンズー教のインドラ神で、阿修羅と戦った武勇の神でありましたが、仏教にとり入れられてからは、釈迦が成道する前に梵天と一緒に守っていたと言われてい

ます。  
「捨身飼虎」

釈迦の前世に飢えた虎の親子を崖下に見つけ憐れんでその崖から身を投じたという説話があります。

大いなる菩提心を発して他人を利益しようとするなら、衆生のために身命を捨てることなど難しいことではない。

玉虫厨子(法隆寺)には、飛び込んで落下する王子と、飢えた虎が王子を食べる図が描かれています。

また、いつも真実の法を求め続け、人々に広めることを願っていた雪山童子(せっせんどうじ)と言う少年がいました。ある日、山の中で修行していると不思議な詩を唱えているのを耳にしました。人を食う鬼で、是非その詩を教えてくださいのように頼むと、鬼は丁度空腹で、童子を食べる事と引き換えに教える約束をしました。教えを聞くと童子はすぐに近くの岩にその詩を刻み込むと、早速鬼の口に身を投じました。すると鬼の姿はたちまち帝釈天に代わり、童子を空中で受けとめると地上におろし礼拝しました。童子は釈迦の前世の姿なのです。

仏教には、究極の布施行として、身を捨てて他の生物を救う捨身行があります。

身を焼く焼身、入水 投身 断食 などがあり、特に小乗仏教圏では今も現実にあります。

さて、超我の奉仕と並んで良く言われるThey profits most who serves best(よく奉仕するものは、もっとも報われる(利益を得る))という事で

## ----- 家 族 月 間 -----

|                  | 2月15日(土)                                              | 2月21日(金)                                          | 2月28日(金)                                                                          | 3月 8日(土)                                                        |
|------------------|-------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 例<br>会<br>予<br>定 | 14日(金)振替<br>東尾張分区 IM<br>(11RC合同例会)<br>於 ウェスティンコヤキャッスル | 卓話担当者:<br>米山記念奨学委員会<br>卓話者: 古橋エツ子君<br>演題: 「若者の昨今」 | 卓話担当者: 西尾国際奉仕委員長<br>卓話者: 名古屋経営短期大学 学生<br>アディカリ アニタさん<br>アディカリ スシル 君<br>演題 「日本に来て」 | 7日(金)振替<br>伊那RC・尾張旭RC交流例会<br>於 つたも<br>3/9 合同ゴルフ大会<br>於 森林公園ゴルフ場 |

すが、奉仕こそが利益を得る基本であります。利益とは何か、現実的な一般でいう利益もあります。草創期のRCはこうした利益を求めていたと思います。現在もこうした利益を少なからず求めています、捨身とまではいかないと、それくらいの気持ちをもって奉仕することによって、更に崇高な利益を得ることが出来るのではないのでしょうか。

## 委嘱状



△中央 地区補助金委員会委員の加藤 清久君  
右 地区米山記念奨学委員の山田 直樹君

## 幹事報告

- ・1/24 地区研修・協議会実行委員会 於商工会館 山田実行委員長以下11名出席
- ・1/25 地区新会員研修セミナー 於名鉄グランドホテル 菊田利昭君出席
- ・1/28 地区研修・協議会 登録委員会 於商工会館事務室 8名参加
- ・本日の会合：第10回地区研修・協議会実行委員会 ウェスティンゴヤキャッスルと打ち合わせ
- ・次回の会合：第11回理事役員会
- ・例会変更のお知らせ：別紙

## ニコボックス

○本日はお世話になります。瀬戸RC

加藤 太伸君

○ひさかたにお世話になります。瀬戸北RC

青山 雅彦君

○地域活動推進協議会 会長 加藤 愛子様、ようこそいらっしゃいました。箕輪 良孝君

○加藤愛子さん、ようこそいらっしゃいました。先日の表彰、真におめでとうございました。我々も見習いたいと思います。西尾 輝久君

○地区研修・協議会の準備も佳境に入ってきました。本日の卓話致しますが、皆さまのご協力をお願いいたします。山田 直樹君

○本日卓話を10分程させていただきます。よろしくをお願いいたします。唐井 仁一君

○カレーライス例会、ありがとうございました。桜井 雅博君

○古橋 裕志君、ありがとございました。

福岡 健君

○職場で、インフルエンザが流行しています。うがい、手洗いをしっかり守っています。

古橋エツ子君

○早いものでもう一月も終わりですね。ロビンは風邪もひかず、元気にしてくれています。

森井 晴生君

○すでに1月終わりです。段々地区研修・協議会が近づきます。緊張して頑張ります。

加藤 清久君

○来週は出張いたしますので、休みます。

浅野 善吉君

○お忙しの君

江尻 豪君

## 尾張旭市地域活動連絡協議会へ メダル贈呈



△メダル贈呈後、加藤 愛子会長よりお礼の挨拶

## 卓 話

『地区研修・協議会について』

実行委員長 山田 直樹



現在地区ガバナーエレクト事務所との打ち合わせも佳境を迎えてまいりました。だんだんと近藤ガバナーエレクトの基本的な考え方も理解できるようになり、楽しみになってきました。反面協議会のボリューム大きさ意義の大きさにホストを務めるプレッシャーも大きくなってきました。クラブメンバー全員で当日実り多い結果に導いていきたいと考えています。かなり詳細にわたり打ち合わせが行われていますので、本日は各担当者別に皆さんに報告して理解を深めていきたいと思っています。全体としては勉強会に極力力を傾注していくことをめざし、セレモ

二一的なものを省いていこうとしています。

#### 総務・渉外、記録統括責任者

唐井 仁一



総務・渉外と記録の今日までの活動状況について説明いたします。

昨年の9月5日に一色RCの例会に出席し、例会終了後に資料の提供と説明を受けた時から実行委員会の活動が始まりました。今日までにすでに21回の会合や打合せを行っており、実行委員会は8回、ガバナーエレクト事務所との打合せは5回行っております。ガバナーエレクトからは、ガバナーの考えを浸透させる会議にしたいとの要望がありました。

2014～15年度の地区研修・協議会は今までのRI、地区からのインフォメーションにとどまらず研修としての要素を取り入れた内容に変わります。

事前に次期の各委員長さんに対し質問状を送り役職についてもっとも重視されること。それを実行するにあたっての課題と問題点を質問状の回答用紙に記入して頂き、回収した質問の中から分科会において回答をする事となりました。

指導者会議と地区研修・協議会のプログラムについては指導者会議については昨年度の内容と変わりませんが、本会議のプログラムを昨年度が一日かけて研修をしていたものを、余分なセレモニーをはずし午後から半日の研修に変更を致しました。

次に予算であります。昨年度の決算書を参考に見積もりをたて、昨年度並みの登録料でいけると判断を致しました。

最後に記録の担当であります。2月に入って指導者会議の資料や本会議の資料作成の準備に取り掛かって参ります。以上で総務・渉外、記録の報告とさせていただきます。

#### 会場運営・登録統括責任者

古橋 裕志

本年度の地区研修・協議会は、従来と違い「研修」としての要素を取り入れ、セレモニーの時間を大幅に省略されました。

今回は、唐井さんから説明があったように共通の課題を研修、勉強する予定です。その質問に対して、地区役員が回答する形式で大変ロータリーについての各自の参考になると思います。

なお、今回我がクラブのホスト役として、1月30日に第1段階は皆さまのご協力に依りつつがなく終了



し、今月から第2段階へ入り会場を中心に展開していく予定です。これからも、皆さまのご協力の程、お願いいたします。

### 第10回地区研修協議会 実行委員会報告

- と き 平成26年1月31日（金）13:40 ～  
ところ 尾張旭市商工会館 第1会議室
- 議 事
1. 名札と受付名簿の作成について  
担当部門は登録部門とする。  
各RCから出席名簿が届いた後、確認メールを送る。  
①名札作成 4月3日迄に納品になるようにする。  
②受付名簿 指導者会議 名簿は作成しない。  
出席カードを渡すのみ。  
地区研修 後日打ち合わせ。
  2. 指導者会議について  
学生ボランティアは依頼しない。  
受付担当者は、基本的には、2分科会で1名とする。  
第1・第2分科会 森井 晴生君  
第3・第4分科会 井田 武憲君  
第5・第6分科会 菊田 利昭君  
第7・第8分科会 舟橋 龍秀君  
案内に6名も必要ないのではないかと。  
吊看板は、資料のとおりで了承した  
発注は渉外からする。当日の確認は会場運営部門が行なう。
  3. 冊子作成について  
地区事務局からのデータはPDFとなっているが、イラストレーター(Mac用)でもいただけるようお願いする。  
①指導者会議冊子 3月14日  
最終ゲラ刷り確認  
3月25日 13:00から 完成品確認  
内容は冊子案のとおりとする。  
概要書案は福岡さんに作成してもらう。  
②地区研修冊子  
冊数は、1,500冊を目安にする。

ロータリーソングいらない。  
ロータリーの綱領ではなく、目的にする。

出席者に渡す袋詰め作業

4月12日(土) 13:30 ~

ウエスティンナゴヤキャッスル

4階みやびなごみの間

③報告書冊子

出席者名簿は削除できるか地区と相談する。

当日のアルバムはページ数の都合とする。

④質問回答集

報告書と別の冊子としたい、地区と相談する。

4. 地区研修・協議会について

見積書について個々の項目の確認をした。

食事内容の提示をしてもらう。

ミネラルウォーターのペットボトル1600個を追加し、グラスのウーロン茶は用意しない。

本会議で投入花は必要か地区に確認する。

呈茶コーナーは削除する。

会場着席区分は分科会ごとか分区ごとか地区と相談する。

本会議場のレイアウトを地区と打ち合わせする。

A E Dの設置場所は、1階 フロント

2階 クロークにある。

危機管理係を設置し、当クラブの医者に担当してもらう。

音響機材は、分科会の意向を丁寧にみ上げる。

分科会等の録音(CD)は、遅くても翌日にはできている。

学生ボランティアは依頼しない。

挨拶時間を知らせるベルは使わない。

前日の冊子詰め作業は、13:30からホテル4階みやびなごみの間で行い、その日のうちに2階の会場のどこかにできれば移動させる。

ホテルより2月10日までにもらう資料

- ・改訂会場平面図(呈茶コーナーなし)
- ・去年の看板資料すべて
- ・見積書(食事内容の記載されたもの)

5. その他

2月13日のガバナー補佐会議へ出席する3名は次の者とする。

箕輪会長 山田実行委員長 仲澤君

- ・実行委員会用にパソコンを1台購入する。

次回実行委員会 2月14日(金) 13:30から

議 題 冊子作成について

名札作成について

2014-15年度『ロータリーの友』  
表紙写真を募集します。

テーマは設けません

次年度の表紙写真を募集いたします。テーマは設けません。募集要領は下記の通りです。

①締切：2014年4月30日

②点数：1人 3点まで

③サイズ：紙焼き四つ切り(それに近いサイズも可)

④添付資料：名前、クラブ、連絡先住所・電話・ファクス、撮影場所、撮影年月、撮影のデータ(カメラ名、使用レンズ〔ミリ〕、露出、シャッター速度)、簡単な写真説明。

⑤発表：『友』誌2014年8月号、ホームページ『ロータリージャパン』(6月下旬予定)に入選者のみ。

⑥審査員：ロータリーの友編集担当理事ほか。

⑦その他：表紙のサイズに合わせトリミングをする場合があります。／写真の上にタイトルその他の文字がかかる場合があります。／採用決定作品は、掲載時にネガフィルム、ポジフィルム、デジタルカメラの場合はデータが必要になります。／掲載に際して、賞金ならびに掲載料等の支払いはいたしません。／入選作品の著作権は撮影者に帰属します。『ロータリーの友』は、印刷物(『ロータリーの友』、『友』英語版、その他)ならびにウェブサイトへの掲載、展示などの使用権を保有します。／応募作品の返却はいたしません。

国際ロータリー定款、国際ロータリー細則、標準ロータリークラブ定款、『2013年手続要覧』が更新されました

2013年規定審議会の決定を反映した国際ロータリー定款、国際ロータリー細則、標準ロータリークラブ定款が入手可能になりました。(PDFファイル)。

※追記(10/30)

英語版『2013年手続要覧』がダウンロードできるようになりました。(PDFファイル)

※追記(1/23)

日本語版『2013年手続要覧』がダウンロードできるようになりました。(PDFファイル)

## 『ロータリーの友』と命名

新しい雑誌の発行が決定 1953年1月号 創刊号

1952(昭和27)年4月、第60地区の大会が開催されました。同年7月に迎える新年度(1952-53年度)から、日本の地区は、東日本と西日本の2地区に分割されることに決定されていたので、主催者も参加者も、共に深い感慨をもって臨んだ特別な地区大会でした。この地区大会では、いくつかの問題が話し合われましたが、その一つに、日本の2地区で共通の雑誌を発行するとの決定がありました。これまで共に活動をしてきた日本のロータリアンが、分割されてからも緊密に連絡を取り合い、情報を共有するための機関誌として、企画されたのです。

新しい雑誌について本格的にいろいろなことが決められたのは、同年8月16日、岐阜市の長良川河畔にあった大竹旅館での会合においてです。1953(昭和28)年1月から、毎月発行すること、価格を50円とするが、広告を取って100円分の内容のある雑誌とすること、名前を『ロータリーの友』とすることなどが決定されました。